



新任医師の紹介

医師 園 真廉

医師 山手 崇志



はじめまして。園 真廉 (その まれん)と申します。この春より、弓削メディカルクリニック・滋賀家庭医療学センターに他科転向プログラムの研修生として参りました。16 年目の医師です。出生から青年期を京都と滋賀で過ごしました。名古屋での初期研修と内科研修を経て、神戸に移り住み、9 年間、救急および集中治療に携わりました。現在は、妻子、親兄弟と大津で暮らしています。



医学部卒業の直後、当時の弓削メディカルクリニックを見学させていただきました。まるで昨日のことのようです。このたび、みなさまとご一緒させていただくことが叶いました。ご縁に感謝いたします。

「仕事を礼拝の地位に高めた。」という言葉があります。凜とさせられます。医師の仕事は病を癒し、健康づくりのお手伝いをすることです。治癒や健康について、みなさまとともに、学び、暮らしに役立つ何かを見つけ、世に問うことができますように。

どうぞよろしくお願いいたします。



皆様、初めまして。この 4 月より弓削メディカルクリニックに赴任しました山手 崇志(やまて たかし)と申します。出身は宮城県仙台市で、一度大学を卒業し、社会人を経験してから 40 歳間際で医師になりました。

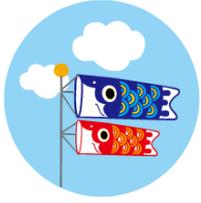


医学部卒業後は、三重で初期研修を行い、その後は京都や千葉で内科研修を、愛知で精神科研修を行い、各地を転々としてきました。医師 5 年目で弓削メディカルクリニックの他科転向・開業前研修プログラムに属し、外来診療・訪問診療等に携わっていく予定です。

私は元々大学院で心理学を専攻していたこともあり、カウンセリングや心理療法に興味があり、これまで色々な理論を勉強してきました。そうした経験を活かして、皆様の体の苦痛だけではなく、心の不安や苦悩にも寄り添い、心身両面から皆様のサポートできるように心がけていきたいと思っております。何か困りごとがあれば気軽に相談していただければと思います。



滋賀はまだ土地勘がないので、地域のことを理解できるように診療の合間にでも皆様のおススメをお教えいただけたら幸いです。これから地域の皆様のお役に少しでも立てるように、一生懸命頑張っていく所存ですので、何卒よろしくお願いいたします。



伝書鳩

看護師 宮井 由里子

伝書鳩はカワラバトなどの鳩を飼い馴らし、鳩の帰巢本能を利用し、遠隔地からは都にメッセージを持たせて届けさせる通信手段の一種です。

メッセージとは具体的に説明すると、手紙やフィルム・薬品などを小さな筒に入れ、鳩の足につけて放っていたそうです。

恐るべき実力、伝書鳩の歴史は紀元前から 20 世紀半までバリバリ大活躍していたそうです。

明治 20 年、旧日本陸軍が伝書鳩の実験に成功しました。その距離なんと東京から静岡です。

手紙の内容は漁船から漁の成果を連絡するのにも利用されていました。戦場での連絡にも使われるようになり、人間がこっそり伝令をするよりも安全だと考えられました。その成功率は 95%にも登ったそうです。



しかし、悲しいことに一生懸命使命を努める鳩を襲わせるために鷹を放したりしたそうです。

帰巢本能。誰に教えてもらったわけでもなく、生まれながらにして持っている能力って発達した AI よりさらに高度かも…



～お知らせ～

新型コロナウイルスに関して

風邪の症状がある方は窓口にてお伝えください。

感染防止の観点から、風邪の症状のある方はお車等でお待ちいただく場合があります。ご協力よろしくお願いいたします。

新型コロナウイルスの最新情報は厚生労働省ホームページを参考にしてください。



医師の不在のお知らせ

【外来医師の不在】

新型コロナウイルス対策として、医師の診療体制が大幅に変更されました。外来に出ている医師の人数が少なくなり、待ち時間が通常よりも長くなることを見込まれます。流行の状況により診療体制変更の期間が前後すると思われます。ご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

糖尿病教室・ウォークラリー中止のお知らせ

新型コロナウイルスの流行を踏まえ、7月の糖尿病教室及び10月に予定しておりましたウォークラリーは中止とさせていただきます。糖尿病教室の再開は未定です。決まり次第お知らせいたします。

